

= 授業概要について =

授業概要（シラバス）の各欄に書かれている内容、用語の意味は次のとおりです。

なお、授業科目に関する最先端の研究内容を反映させるため、実際の授業内容が本書の概要と一部異なる場合があります。

1. 必修・選択・自由

当該授業科目が必修科目であるか、選択科目であるか、自由科目であるかを示しています。

必修科目は、卒業又は修了するためには必ず単位を修得しなければならない科目です。

選択科目は、自由選択によって履修できますが、卒業又は修了するためには、一定の範囲の中から所要の単位を修得しなければならない科目です。

自由科目は、自由選択によって履修できますが、卒業要件には含まれない科目です。

また、教職科目については、教育職員免許状を取得するための要件に基づいた区別を示しており、必修科目は、教育職員免許状を取得するために必ず単位を修得しなければならない科目で、選択科目は、自由選択によって履修できますが、教育職員免許状の取得に必要な所要の単位を修得しなければならない科目です。

2. 開講セメスター・配当年次

開講セメスターは、当該授業科目を開講する時期を示しており、各年次の前期が奇数（1、3、5、7）セメスター、後期が偶数（2、4、6、8）セメスターとして区分されています。

平成22年度は、原則として1年次の学生には、第1・第2セメスター、2年次の学生には第3・第4セメスター、3年次の学生には第5・第6セメスター、4年次の学生には第7・第8セメスターの授業が開講されます。

ただし、大学院の授業科目については、開講時期について柔軟に対応するため、セメスターではなく、配当年次で示しています。

3. 単位数

当該授業科目を履修し、試験に合格した場合に得られる単位数を示しています。

4. 主担当教員名

当該授業科目の計画や成績のとりまとめを主に担当する教員名を示しています。

5. 授業の目標

担当教員が当該授業科目をどのような目的やねらいをもって開講しているか、履修するとどのような成果が得られるかなどを示しています。

6. 授業の概要・計画

授業の概要、授業で取り上げる項目、各週あるいは数週ずつをまとめた授業の計画や分担する教員名などを示しています。

選択科目については、前項と併せて、各自の目標、関心にあった授業科目であるかどうかを知り、選択の助けとすることができます。

7. 成績評価の方法

どのようにして成績が評価されるかを示しています。

8. テキスト・参考書等

授業に必要なテキスト（教科書）、参考書等を示しています。

テキスト（教科書）は、授業時に必ず携帯すべきものです。

参考書等は、授業内容をより深く理解するために役立つものです。個人で購入してもよいですが、図書館で読むこともできます。

9. 履修上の留意点

当該授業科目を履修するにあたり、あらかじめ履修しておくことが望ましい授業科目など留意すべき事柄がある場合にその留意点を示しています。